

1. はじめに

本マニュアルは、Dino Capture 2.0 のユーザーガイドをもとにまとめたものである。

使用する Dino Capture 2.0 は、一般からプロフェッショナルまで、様々な用途に使用可能な、高品質、高機能の、デジタル顕微鏡用ソフトウェアである。

Dino Capture 2.0 を開くと左上にメニューバーが4つある。使い方の手順の前に、この4つのメニューバーおよびその他のツールバーについて簡単に説明しておく。

2. メニューバー

左側からフォルダ・ファイル・設定・ヘルプである。

○フォルダ

- ・新規作成～新しい保存フォルダを作成できる。
- ・開く
- ・フォルダのプロパティ～現在の保存フォルダの名前を変えたり、注記を編集することができる。
- ・Dino Capture 2.0 を終了～Dino Capture 2.0 のソフトウェアを終了できる。

○ファイル：選択した画像を開いたり、コピーや削除することができる。

○設定：言語やサウンド効果などの各種設定ができる。

○ヘルプ：ユーザーガイドやライセンス契約がある。

以上が、メニューバーの簡単な説明である。次に、メニューバーの少し下に画像リストツールが7つあるので、画像リストツールについてもそれぞれ簡単に説明しておく。

3. 画像リストツール

左側から開く・コピー・別名で保存・メールを送る・印刷・スライドショー・削除である。

○開く：選択した画像やビデオをメインビューウィンドウに表示できる。

○コピー：選択した画像を別のフォルダやプログラムに貼り付けるためにコピーすることができる。

○別名で保存

○メールを送る

○印刷：選択した画像を印刷することができる。

○スライドショー

○削除：不要な画像の整理に使う。

その他に、メニューバーの横にプレビューウィンドウ管理バーやその下にツールバーがあるが、測定の手順を把握していればよいので割愛する。だが、使い方の手順の上で必要なツールについては後に説明していくことにする。

4. 使い方の手順

☆測定ツール ～測定値のキャリブレーションの仕方

キャリブレーションをする前に、あらかじめデジタルスコープのテーブルに測定する物あるいは他の物を載せてピントおよび向きや照度等をあわせておくこと。また、その際に後に必要になる顕微鏡の拡大率ダイヤルの数字を入力、単位を選択しておく。

【キャリブレーションをする前の準備】

- 4-1. ライブラリウィンドウのキャリブレーションアイコンをクリックする。
- 4-2. 「新しいキャリブレーションプロファイル」を選択する。
必要事項（プロファイルの名前）を記入。
→記入後、「キャリブレーションを続ける」をクリックする。
- 4-3. 新しいメニューで「フリーズ」ボタンを押し、キャリブレーションをする物を固定する。
注）フリーズしないで先に進むと Dino Capture 2.0 の動作が止まることがある。
- 4-4. Dino-Lite の拡大率の値を入力し、Enter キーを押す。

Dino-Lite の拡大率は、顕微鏡のダイヤルから読み取ることができる。

参考）Dino-Lite の拡大率は、おおよそ 40～45 倍程度になるはずである。

- 4-5. 2つの青い点とピンクのガイドラインのある赤い線が現れる。

【測定値をキャリブレーションする】

- 4-6. 青い点を左クリックし、希望の開始位置に動かす。
- 4-7. もう片方の青い点も同様に左クリックし希望の終了位置に動かす。
注）このときの2つの線は目的の線の太さの間にくるようにする。
- 4-8. 正しく2点間が設定できたら、その2点間の既知の距離を入力する。
→測定の単位の設定も選択する。
- 4-9. 終了を押して、キャリブレーションは終了になる。

【画像の撮影・印刷】

キャリブレーションをした後、画像を撮影（撮影ボタンを押す以外にライブビデオウィンドウ上でダブルクリックしても可能）、画像の選択をしてコピーする。その後、コピーした画像をもとにのぎすを用いて比例式を活用して算出する。

5. Dino Capture 2.0 の終了の仕方

メニューバーのフォルダを開き、Dino Capture 2.0 を終了をクリックすれば、Dino Capture 2.0 のソフトウェアを終了できる。